

## 運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

弊社は、お客様に信頼される「安全」で「安心」なリムジンバスを目指し、輸送の安全を確保することが最も重要であることを深く認識し、以下のとおり経営トップをはじめ全社員が一丸となって、絶えず輸送の安全性の向上に取り組んでまいります。

### 1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 社長及び役員は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たしてまいります。また、安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえるとともに、企業理念等(別紙1)の浸透を図り、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を全従業員に徹底してまいります。
- (2) 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善(Plan Do Check Act)を確実に実施するとともに、安全対策を不断に見直し、全従業員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めてまいります。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表いたします。

### 2. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

#### 【2017年度目標及び達成状況】

- |                                |           |   |         |
|--------------------------------|-----------|---|---------|
| (1) 重大事故発生件数                   | 目標 0 件    | → | 結果 0 件  |
| 車庫内事故発生件数                      | 0 件       | → | 1 件     |
| 追突事故発生件数                       | 0 件       | → | 0 件     |
| (2) 有責事故発生件数の削減                | 目標 17 件以下 | → | 結果 19 件 |
| (3) 営業所ごとの連続無事故日数              | 100 日     | → | 結果 達成   |
| (4) 輸送の安全に関する投資額               |           |   |         |
| ・ 安全装置設置車両の導入                  | 11 両      |   | 387 百万円 |
| ・ SAS検査受診者数 23 名・脳ドック受診者数 17 名 |           |   | 1 百万円   |
| ・ 運輸事業従事員の教育指導実施に伴う投資          |           |   | 29 百万円  |

#### 【2018年度の目標】

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| (1) 重大事故発生件数          | 0 件                |
| 車庫内事故発生件数             | 0 件                |
| 追突事故発生件数              | 0 件                |
| 発進時動静不注視事故            | 0 件                |
| (2) 有責事故発生件数          | 17 件以下(対前年比 10%削減) |
| (3) 営業所ごとの連続無事故日数     | 100 日              |
| (4) 輸送の安全に関する投資額      |                    |
| ・ 車両更新(安全装置設置車両導入)    | 9 両 321 百万円        |
| ・ 運輸事業従事員の教育指導実施に伴う投資 | 39 百万円             |
| ・ 運転技能自動評価システムの導入検討   | 2 百万円              |

### 3. 自動車事故報告規則第二条に規定する事故に関する統計(2017年4月1日～2018年3月31日)

車両故障 …… 7 件

### 4. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

別紙 2 のとおり

## 5. 輸送の安全に関する重点施策

- (1) 輸送の安全が最も重要であるという意識を徹底し、安全管理規程に定められた事項及び関係法令を遵守いたします。
- (2) 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共用いたします。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを適確に実施いたします。
- (6) 傘下のグループ企業と密接に協力し、一丸となって輸送の安全性向上に努めます。

## 6. 事故、災害等に関する報告連絡体制

別紙 3 のとおり

## 7. 安全統括管理者

常務取締役 西山 哲

## 8. 2017年4月～2018年3月までの主な取り組み内容

- (1) 安全統括管理者、部門管理職による始業・終業点呼の立会い及び営業所等の巡回(25回)
- (2) 安全運転講習会の開催(1回)
- (3) 安全運転講習会資料の配付(1回)
- (4) 運輸安全推進委員会の開催(3回)
- (5) 事故防止対策委員会の開催(6回)
- (6) 健康管理体制の強化
  - ① SAS簡易検査 18名 SAS精密検査 5名 脳ドック検査 17名受診
  - ② 点呼時における健康チェック強化
- (7) 外部機関研修《クレフィール湖東》の実施(1日間研修 12名+網干交通教育センター9名)
- (8) 緊急事態対応訓練の実施(2回)
- (9) 無事故運転士表彰者による安全意識の共有(6月)
- (10) 多客期の主要バス停点検の実施(3回)
- (11) 無事故・無違反チャレンジコンテストの参加(10月～翌年3月)
- (12) 「ヒヤリ・ハット事例集」冊子の配付(2回)
- (13) 管理監督者安全研修の実施(1回)
- (14) 安全マネジメント担当要員研修の実施(2回)
- (15) 施設・運用等の検討による事故防止対策の実施
  - ① 車庫内の最徐行、周囲安全確認の徹底
  - ② 出入庫時の一旦停止による安全確認の徹底
  - ③ 伊丹空港ターミナルの改修工事区間の最徐行の徹底
- (16) 事故の特性に応じた教育指導の実施
  - ① 惹起者の教育
  - ② 惹起場所の重点巡回
- (17) 勤続年数や年齢等に応じた教育指導の実施
  - ① 経験浅薄者の運転技能教育の強化
- (18) 新入乗務員研修における運転技能レベルに応じた教育内容拡充(網干交通教育センター9名)
- (19) アイマークレコーダー研修の実施(19名)
- (20) モニター制度の実施
- (21) 終着停留所での車内確認の徹底(巡回等で実施確認)
- (22) 乗務中の携帯電話等による操作禁止の徹底(7月に私用携帯電話の持ち込み制限を実施)



社長による営業所巡回



警察官を招いての講習



乗務員の外部機関研修



アイマークを用いた教習



緊急事態対応訓練

## 9. 安全管理規程

別紙 4「安全管理規程」参照

## 10. 輸送の安全に関する内部監査結果及び措置内容

### (1) 監査目的

安全管理規程に基づき、安全管理体制の「適合性」と「有効性」を検証しました。

### (2) 実施期間

2017年12月12日～2018年2月23日

### (3) 対象

- ① 経営トップ(社長、安全統括管理者及び運輸部長)
- ② 管理部門(総務部、運輸部)
- ③ 運行部門(運輸部、旅客案内業務を委託するリッツ株式会社)
- ④ 車両整備管理部門(運輸部、車両整備管理業務を委託する株式会社オムテック)

### (4) 実施内容

経営トップの責務・安全管理体制の運用状況、安全に関する目標設定及び達成状況、教育及び研修の実施状況、業務遂行状況、是正・予防・改善措置等について適正に実施されているかを確認しました。

### (5) 監査結果

特段の指摘事項はなく、概ね適正であることを確認しております。

## 11. 一般貸切自動車運送事業・運転者に係る情報

運転者数 7名(非正規 7名)

健康保険加入 7名、厚生年金加入 7名、労災保険加入 7名、雇用保険加入 7名

## 12. 一般貸切自動車運送事業・運行管理者に係る情報

運行管理者 3名、運行管理補助者 4名

## 13. 一般貸切自動車運送事業・整備管理者に係る情報

整備管理者 1名、整備管理補助者 1名

## 14. 一般貸切自動車運送事業・事業用車両に係る情報

大型車両 保有車両 5両

最新車齢 5.0年、最古車齢 8.5年、平均車齢 7.1年

ドライブレコーダー搭載車両 5両、デジタルタコグラフ搭載車両 5両、ASV 搭載車両 3両

主な運行の態様: 学校・企業輸送送迎等

任意保険対人保険金額: 無制限、任意保険対物保険金額: 2,000万円